

SHARP

取扱説明書（操作・設定編）

ネットワークカメラ

形名 YK-P02AG



このたびは、シャープ製ネットワークカメラ YK-P02AG（以下、本製品）をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書（以下、本書）および、本製品に同梱されている取扱説明書（基本編）をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。

ご使用前に、本製品に同梱されている取扱説明書（基本編）に記載の「安全上のご注意」を必ずお読みください。

お読みになった後は、いつでも見ることができる場所に必ず保管してください。

本書の内容は、改良のため予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

取扱説明書（基本編）、および、ソフトウェアは下記 URL よりダウンロードすることができます。

<https://jp.sharp/business/security-camera/>

もくじ

はじめに	3
■ 取扱説明書について.....	3
■ 本製品でできること.....	4
■ ご使用になる前に確認してください.....	5
アクセスしてパスワードを設定する	6
■ 事前準備.....	6
■ ActiveX コントロールを許可する.....	6
■ プロキシサーバーを無効にする.....	7
■ カメラにアクセスしてパスワードを設定する.....	7
操作する	9
■ 画面の見かた.....	9
■ クイックボタン.....	10
■ スナップショットを撮影する.....	11
■ 録画を開始/停止する.....	11
■ ライブビュー映像を拡大表示する.....	12
■ プライバシーマスク.....	12
■ 画質の基本設定.....	13
■ 画質の詳細設定.....	14
■ PTZ 操作パネル.....	16
パン・チルト・ズーム操作.....	16
カメラの設定.....	17
■ ログアウトする.....	21
設定する	22
■ 設定.....	22
設定	23
■ システム.....	23
一般設定.....	23
ユーザー.....	24
日時.....	25
OSD.....	27
システムログ.....	28
■ 映像/音声.....	29
ストリーム.....	29
音声.....	31
■ コントロール.....	32
グローバルカウンター.....	32
疑似入力.....	32

■ ネットワーク	33
一般設定	33
HTTP	34
RTSP	35
HTTPS	35
IP/MAC アドレスフィルター	36
DDNS	37
■ スマートイベント	38
スマートイベント	38
モーション検知	41
妨害検知	41
音声検知	42
アラーム検知	42
■ 通知	43
FTP 転送	43
メール通知	44
HTTP 通知	45
SD カード録画	46
SD カードバックアップ	47
Samba サービス	48
■ メンテナンス	49
ファームウェア更新	49
設定のエクスポート/インポート	49
システム再起動	50
工場出荷設定	50
■ PTZ	51
ツアーのセットアップ	51
スケジュール	52

はじめに

■取扱説明書について

構成について

本製品の取扱説明書は、次の構成になっています。

- **取扱説明書（基本編）：本製品同梱**
本製品の安全上のご注意、設置時やご使用時のお願い事項について記載しています。
本製品を使用する前に必ずお読みください。
- **取扱説明書（操作・設定編）：本書**
本製品のご使用にあたっての設定および操作方法について記載しています。

表記について

本書では、説明を簡単にするために「ネットワークカメラ」を「カメラ」、「ネットワーク・ビデオレコーダー」を「NVR」と表記します。」と表記します。本書では Microsoft Edge IE モードでの表示方式／設定方法で記載しています。

商標について

- Microsoft、Windows、Microsoft Edge、ActiveX は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

免責事項

本書に記載の仕様、外観、画面表示などは予告なしに変更する場合があります。また、本書に記載の内容は本製品の仕様すべてを網羅するものではありません。あらかじめご了承ください。

■本製品でできること

製品概要

本製品は、PTZ（パン・チルト・ズーム）タイプの屋外対応ネットワークカメラです。

パン	チルト	ズーム	画素数	防水・防塵性	圧縮形式
360°	-6° - 186°	光学 25 倍 ズーム	約 210 万画 素	IP66	H.264/H.265

特長

- **高圧縮**
最新の動画圧縮規格 H.265 に準拠しており、H.264/H.265 形式でのマルチストリーミングが可能です。
- **PoE 給電対応**
PoE 給電（PoE++（IEEE802.3bt））に対応。ネットワークケーブルで電源を供給できるため、配線処理作業を効率化できます。
- **Web ブラウザー対応**
Microsoft Edge IE モードに対応しています。

主な機能

- PTZ（パン・チルト・ズーム）カメラ
- 光学 25 倍ズーム
- デジタルズーム（最大倍率 200 倍）
- 動画圧縮規格 H.264 および H.265 形式に準拠
- メールまたは FTP を介したスナップショットアラーム通知
- デイモード/ナイトモード機能を搭載
- モーション検知機能を搭載
- ネットワークタイムプロトコル（NTP）に対応
- ONVIF プロトコルに対応
- スキャン、シーケンシャル、ツアー、パトロール、プリセット機能を搭載

■ご使用になる前に確認してください

接続する機器の推奨仕様について

本製品と接続して使用する機器の推奨仕様は、次のとおりです。

●パソコンの推奨仕様

対応 OS	: Windows10
Web ブラウザー	: Microsoft Edge IE モード
CPU	: Core i5 第7世代以降
メモリー	: 8GB 以上
グラフィックボード	: NVIDIA

●LAN ケーブルの推奨仕様

カテゴリ	: 5e 以上
長さ	: 100m 以下

●記録媒体の推奨仕様

種類	: microSD メモリーカード
容量	: 128GB 以下
SD スピードクラス	: CLASS10
フォーマット形式	: FAT32 (本製品にてフォーマットすることを推奨します。フォーマット方法は本書「SD カード録画」の [フォーマット] (P.47) をご確認ください。)

ユーザータイプ

本製品は、誤操作や不正な操作を防ぐため、ユーザーごとに操作できる機能を制限できます。ユーザーは次の3タイプに分けられます。詳しくは、本書「ユーザー」(P.24) をご確認ください。

●管理者

すべての操作・設定を実行できます。

●操作者

ライブビュー映像の視聴とパン・チルト・ズーム操作ができます。

●ゲスト

ライブビュー映像の視聴のみできます。

使用時の制約事項

本製品では、各操作や機能において次のような制約事項があります。内容をよくご確認の上、ご使用ください。

●再起動について

システムに過度の負荷がかかったとき、本製品は自動的に再起動する場合があります。

●動画 (ライブビュー/再生) の表示について

フレームレート、解像度などの設定組み合わせ、あるいは、パソコンの性能によってはなめらかに表示されない場合があります。

メモ :

適切に表示されない場合は、ブラウザのキャッシュクリア、プラグインをアンインストールしてから再インストールをおこなってください。

●遠隔視聴サービス「シャープモバイルビューイング」について

本製品は、弊社が提供している遠隔視聴サービス「シャープモバイルビューイング」の公式アプリ「SHARP ビュー」に非対応です。本製品の映像を離れた場所から視聴される場合は、本製品をインターネットに接続した上で、パソコンの Web ブラウザーからアクセスしてください。あるいは、本製品を弊社製 NVR に接続した上で、NVR をインターネットに接続し、パソコン、あるいはモバイル機器の Web ブラウザーからアクセスしてください。遠隔視聴の詳しい設定方法については、お買いあげの販売店または弊社営業担当にご確認ください。

アクセスしてパスワードを設定する

■ 事前準備

- 取扱説明書（基本編）の「システム構成」に記載の構成で、カメラ、パソコンおよび PoE（PoE++（IEEE802.3bt）給電機能付きネットワークスイッチ等を接続してください。
- 本製品にアクセスする前に、LAN ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。

■ ActiveX コントロールを許可する

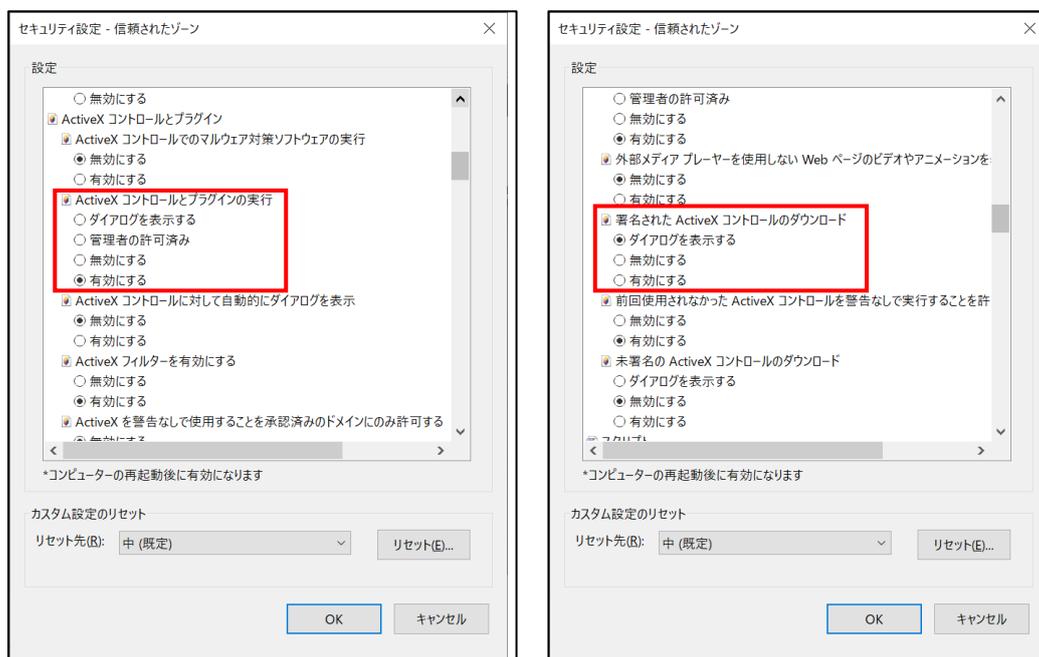
ライブビューを視聴するためには ActiveX コントロールが必要です。ActiveX コントロールのパソコン上での動作を許可するために、次の設定を実施してください。

1. パソコンの【セキュリティ設定】画面を開きます。

パソコンの【スタート】ボタンをクリックし、【コントロールパネル】から、【インターネットオプション】>【セキュリティ】>【レベルのカスタマイズ】を開きます。（アイコン表示でコントロールパネルを操作した場合について記載しています。）

2. 【ActiveX コントロールとプラグイン】の項目を設定します。

【ActiveX コントロールとプラグインの実行】で【有効にする】を選択し、【署名された ActiveX コントロールのダウンロード】で【ダイアログを表示する】を選択し、設定を保存します。



(Windows10 設定画面)

メモ：

ご使用のパソコンによって設定画面や項目名称が異なります。

■プロキシサーバーを無効にする

ネットワークの設定でプロキシサーバーが有効になっていると、カメラに正常にログインできません。以下の手順でプロキシサーバーを無効にしてください。

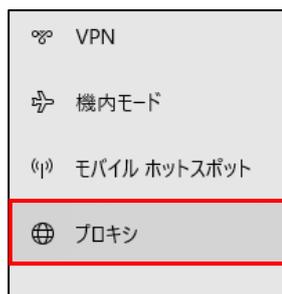
1. Windows の【設定】を開きます。



2. 【ネットワークとインターネット】を開きます。

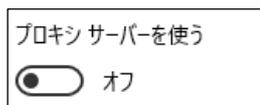


3. 【プロキシ】を開きます。



4. プロキシサーバーを無効にします。

プロキシの【プロキシサーバーを使う】をオフにします。



ご注意：

上記手順は、Windows10 の場合の操作となります。

■カメラにアクセスしてパスワードを設定する

パソコンの Web ブラウザーを介してカメラにアクセスします。
セキュリティの観点から、カメラにはじめてアクセスしたときにユーザー名とパスワードを作成する必要があります。

1. パソコンとカメラを同一ネットワークに接続します。

パソコンのネットワーク設定方法については、パソコンの取扱説明書をご確認ください。

2. パソコンで Web ブラウザーを起動し、アドレスバーにカメラの初期 IP アドレスを入力後、エンターキーを押します。本製品の初期 IP アドレスは 192.168.0.200 です。

カメラのパスワード作成画面が表示されれば、アクセス成功です。

ご注意：

ネットワークのプロキシサーバーを無効にしてください。プロキシサーバーが有効になっていると正常にログインできません。

メモ：

- Web ブラウザーは Microsoft Edge IE モードをご使用ください。
- JPEG またはフル HD ビデオを表示するには、ActiveX コントロールが必要です。インストールを要求する警告ダイアログが表示された場合は、画面の表示に従ってインストールしてください。
- 使用可能な IP アドレスについては、ネットワーク管理者にご確認ください。

3. パスワード作成画面で、ユーザー名とパスワードを入力します。



4. [パスワードを作成] ボタンをクリックしてパスワードを設定します。

メモ：

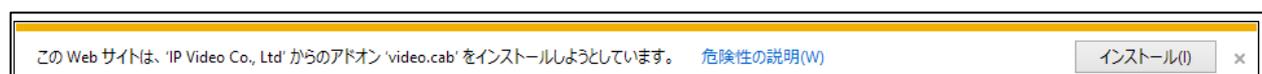
- 設定したユーザーが管理者権限を持ちます。
- アルファベットの大きい文字と小さい文字は識別されます。
- パスワードは、8文字以上、かつ、アルファベットの大きい文字、小さい文字、数字 (0~9)、記号 (~ ? / + = , ; : . ' @ # ¥ % ^ & * () _ -) の中から 3 種類以上の文字を含めることを推奨します。

ご注意：

- ユーザー名およびパスワードといった認証情報は、お客様ご自身の責任で適切に保管してください。
- 万一認証情報を忘れた場合は、本書「工場出荷設定」(P.50)に記載の手順で工場出荷時の状態にリセットしてください。

5. ActiveX コントロールをダウンロードします。

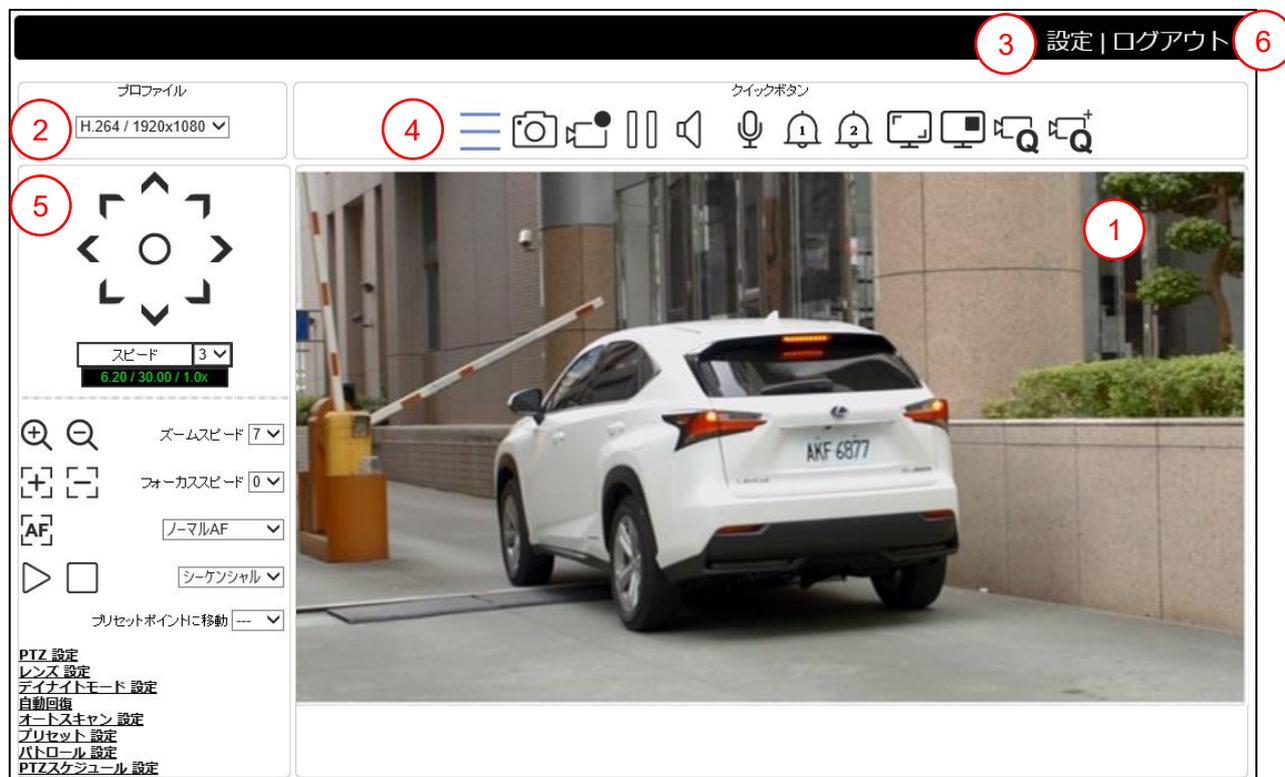
カメラに初めてアクセスしたときに、ActiveX コントロール (video.cab) に関するセキュリティ警告ダイアログが表示される場合があります。表示された場合は[インストール]をクリックし、ActiveX コントロールをインストールしてください。



操作する

■ 画面の見かた

本製品のメイン画面の構成について説明します。



- | | |
|-------------|---------------------------------|
| ① ライブビュー画面 | : ストリーミング映像を表示します。 |
| ② プロファイル | : プロファイルを切り替えます。 |
| ③ 設定 | : 設定画面を表示します。 |
| ④ クイックボタン | : 各機能を実行、または各機能の設定画面を画面右に表示します。 |
| ⑤ PTZ 操作パネル | : パン・チルト・ズームの操作とカメラの設定をします。 |
| ⑥ ログアウト | : ログアウトします。 |

メモ:

- ・ 選択するプロファイルは、[設定] > [映像/音声] > [ストリーム] から設定します。
- ・ 操作者ユーザーの場合、「設定」ボタンが表示されません。
- ・ ゲストユーザーの場合、「設定」ボタンやクイックボタンは表示されません。

■ クイックボタン

クイックボタンの各機能は次の通りです。

アイコン	説明
	PTZ 操作パネルの表示／非表示を切り替えます。
	スナップショットを撮影します。
	録画を開始／停止します。
	録画を一時停止します。
	スピーカーの有効／無効を切り替えます。
	マイクの有効／無効を切り替えます。
	アラーム端子 1 にアラームを出力する／出力しないを切り替えます。
	アラーム端子 2 にアラームを出力する／出力しないを切り替えます。
	ライブビュー画面の拡大表示／通常表示を切り替えます。
	プライバシーマスク設定の表示／非表示を切り替えます。
	画質 基本設定の表示／非表示を切り替えます。
	画質 詳細設定の表示／非表示を切り替えます。

メモ：

- ・スナップショットおよび録画を開始するには、Microsoft Edge の IE モードの設定で、カメラを信頼済みサイトに登録しておく必要があります。
信頼済みサイトに登録するには、コントロールパネル > [インターネットオプション] > [セキュリティ] を開きます。[信頼済みサイト] > [サイト] ボタンを選択し、「この Web サイトをゾーンに追加する」の入力欄に登録するカメラの IP アドレスを入力し、[追加] ボタンをクリックしてください。ブラウザの再起動を行ってから、カメラに再度ログインしてください。（登録方法は一例で、アイコン表示でコントロールパネルを操作した場合について記載しています。）
- ・スピーカーを使用するには、カメラのオーディオ端子にアンプ内蔵マイクを接続する必要があります。オーディオ端子に入力された音声を、パソコンのスピーカーに出力します。詳しい接続方法は、設置ガイド「オーディオ端子の接続」をご確認ください。
- ・マイクを使用するには、パソコンのマイクを有効にする必要があります。カメラにアンプ内蔵のスピーカーを取り付け時、パソコンからの音声を出力します。
- ・アラーム出力を使用するには、カメラのアラーム端子に外部機器を接続する必要があります。詳しい接続方法は、設置ガイド「アラーム端子の接続」をご確認ください。
アラーム端子にアラームを出力しない状態においても、[スマートイベント] の [アクション] にアラーム出力が設定されていて、イベントが発生した場合、アラームが出力されます。

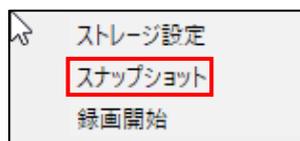
ご注意：

「画質 基本設定」「画質 詳細設定」を閉じてから再度開くと、操作ができなくなる場合があります。操作ができなくなった場合は、ブラウザを再読み込みしてください。

■スナップショットを撮影する

スナップショットを撮影する方法は2通りあります。

- クイックボタンの  をクリックする
- ライブビュー画面上で右クリックし、メニューから [スナップショット] をクリックする



ご注意：

管理者権限が無い場合、メニューが表示されません。

取得したスナップショットは、[ストレージ設定] で設定しているフォルダに保存されます。



- **スナップショットデータ保存場所** : スナップショットの保存フォルダを設定します。
- **録画データ保存場所** : 録画データの保存フォルダを設定します。
- **録画容量** : 保存ファイルのデータサイズを設定します。
- **ハードウェアアクセラレーションを有効にする** : 有効の場合、録画処理を効率化します。
- **フロント** : 本製品では使用しません。

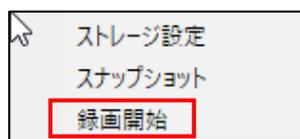
ご注意：

- データ保存場所のパスは半角英数字にする必要があります。
- 使用しているパソコンの環境によっては、ハードウェアアクセラレーションを有効にすると正しく動作しない場合があります。

■録画を開始/停止する

録画を開始/停止する方法は2通りあります。

- クイックボタンの  をクリックすると録画を開始します。
録画中にクイックボタンの  をクリックすると録画を停止します。
- ライブビュー画面上で右クリックして、表示されるメニューから [録画開始] をクリックすると録画を開始します。録画中にライブビュー画面上で右クリックして [録画停止] をクリックすることで、録画を停止します。



ご注意：

- ・管理者権限が無い場合、メニューが表示されません。
- ・PTZ 設定の [クリック・センタリング機能] がオンの場合、メニューが表示されません。
- ・取得した録画データは、[ストレージ設定] で設定しているフォルダに保存されます。

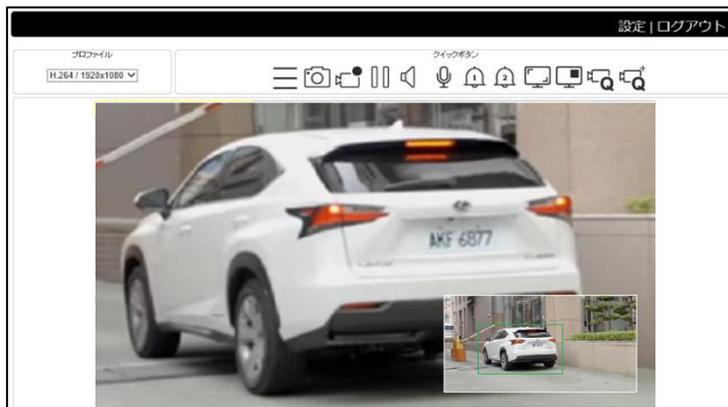
■ ライブビュー映像を拡大表示する

ライブビュー画面を大きく表示する方法は3通りあります。

- ・ライブビュー画面をダブルクリックする
ライブビュー画面がモニターに全画面表示されます。再度ダブルクリックすると、元の表示に戻ります。
- ・ライブビュー画面の中でドラッグする
ドラッグした範囲の左上を起点として、一定の範囲を拡大表示します。
右下に表示される枠内で緑の外枠を移動させることで、拡大箇所を変更することもできます。
右クリックすると元の表示に戻ります。マウスホイールを上下に動かすと、拡大箇所のズームイン/ズームアウトができます。

ご注意：

PTZ 設定の [クリック・センタリング機能] や [マウス PTZ コントロール] がオンの場合、この操作を実行できません。



- ・クイックボタンの  をクリックする
ライブビュー画面が大きく表示されます。クイックボタンの  をクリックすると元の表示に戻ります。

■ プライバシーマスク

クイックボタンの  をクリックすると、プライバシーマスクの設定画面が表示されます。本製品の映像上に、プライバシーマスクを設定することができます。

プライバシーマスク

マスクスイッチ 1 有効 無効

マスクの編集

マスクの番号 なし

マスクの幅 32

マスクの高さ 24

マスクの色

マスクの色 黒色

(マスクの色はすべてのマスクに使用されます)

マスクのクリア

マスクの番号 なし

プライバシーマスク

- **マスクスイッチ** : [マスクの番号] を選択し、プライバシーマスクの有効（表示する）／無効（表示しない）を切り替えます。

マスクの編集

- **マスクの番号** : 設定するプライバシーマスクの番号（1～16）を選択します。編集をクリックして以下の項目を設定します。
- **マスクの幅** : プライバシーマスクの幅を選択します。
- **マスクの高さ** : プライバシーマスクの高さを選択します。

設定後、[適用] をクリックして設定内容を保存します。

マスクの色

- **マスクの色** : プライバシーマスクの色を選択します。マスクの色はすべてのマスクに使用されます。

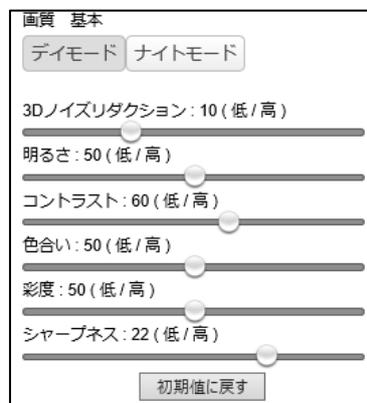
設定後、[適用] をクリックして設定内容を保存します。

マスクのクリア

- **マスクの番号** : 削除するプライバシーマスクの番号を選択します。[適用] をクリックして、選択したマスクの番号の設定を削除します。

■ 画質の基本設定

クイックボタンの  をクリックすると、[画質 基本] の設定画面が表示されます。デイモード、ナイトモードそれぞれについて、3Dノイズリダクション、明るさ、コントラスト、色合い、彩度、およびシャープネスを設定できます。デイモード、ナイトモードで設定を変えることで、それぞれで最適な映像画質が得られます。



[デイモード] [ナイトモード] ボタンで設定するモードを選択します。日中用の設定はデイモード、夜間用の設定はナイトモードを選択します。

- **3D ノイズリダクション** : 暗所のノイズが目立つ場合、必要に応じて高く設定します。
- **明るさ** : 明るさを調整します。
- **コントラスト** : コントラストを調整します。
- **色合い** : 色合いを調整します。
- **彩度** : 彩度を調整します。
- **シャープネス** : シャープネス（輪郭の強調）を調整します。

各項目の設定を変更すると、設定した内容が適用されます。

[初期値に戻す] をクリックすると、設定内容が工場出荷時の状態に戻ります。

■ 画質の詳細設定

クイックボタンのをクリックすると、[画質 詳細]の設定画面が表示されます。デイモード、ナイトモードそれぞれについて、ホワイトバランス、露出値、Auto Gain Controlなどを設定できます。デイモード、ナイトモードで設定を変えることで、それぞれで最適な映像画質が得られます。



[デイモード] [ナイトモード] ボタンで設定するモードを選択します。日中用の設定はデイモード、夜間用の設定はナイトモードを選択します。

- ・ ホワイトバランス** : ホワイトバランスの調整方法を自動/手動から選択します。手動を選択した場合、次の項目を調整します。
 - 自動調整** : ホワイトバランスの赤ゲインと青ゲインを自動調整します。
 - R-Gain** : ホワイトバランスの赤ゲインを調整します。
 - B-Gain** : ホワイトバランスの青ゲインを調整します。
- ・ 露出値** : 露出の値を選択します。値が大きいほど映像が明るくなります。
- ・ 露出モード** : 露出モードを自動/シャッター優先/絞り優先から選択します。[シャッター優先] は絞り値を自動で調整し、シャッタースピードを手動で設定します。[絞り優先] は絞り値とシャッタースピードを手動で設定します。
 - シャッタースピード** : シャッタースピードの最小値と最大値を選択します。HDR が有効の場合、フリッカーレスモード、暗所モード、ノーマルモードから選択します。通常はノーマルモードを使用してください。暗い場所が撮影対象の場合は暗所モード、屋内で蛍光灯などの照明でちらつきが発生する場合はフリッカーレスモードを選択してください。
 - 絞り値** : [絞り優先] にした場合に、絞り値を選択します。
- ・ Auto Gain Control** : Auto Gain Control を調節します。大きい値を設定することで、より明るい映像を得ることができます。詳細は次ページをご確認ください。
- ・ 感度アップ** : 感度アップ（暗所でより明るい映像を撮影する機能）を調整します。値が大きい程映像が明るくなります。HDR が有効の場合、表示されません。詳細は次ページをご確認ください。

ご注意：

感度アップを使用すると、シャッタースピードが遅くなり、カクつきが発生する場合があります。動きの速い対象物の撮影をする場合は、オフにすることを推奨します。

- ・ カラーモード** : 映像のカラー/白黒を切り替えます。
- ・ 赤外線カットフィルター** : 赤外線カットフィルターのオン/オフを切り替えます。
- ・ 霧補正** : 霧補正のオン/オフを切り替えます。オンにすると、霧などの影響でコントラストが低くなる被写体を補正して見えやすくします。

各項目の設定を変更すると、設定した内容が適用されます。
[初期値に戻す] をクリックすると、設定内容が工場出荷時の状態に戻ります。

ご注意：

設定を開始したら、編集を終了するまでデイモード/ナイトモードを変更しないでください。
設定を変更できなくなるおそれがあります。

● **Auto Gain Control (AGC)**

Auto Gain Control (AGC) とは低光量の環境下でも良好な画質の映像を得ることができる機能です。デイモード/ナイトモードそれぞれ設定ができます。

AGC は、6/12/18/24/30/36/42/48/54/60 から選択でき、低光量の場合は大きい値を設定することで、より明るい映像を得ることができます。

AGC を使用しても映像が暗い場合は、感度アップをオンにしてください。ただし、感度アップを使用すると低光量下でモーションブラーが起きることがあります。

● **感度アップ**

感度アップはスローシャッターで映像を明るく補正する機能です。特に低光量の環境下で効果を得られます。



<6>

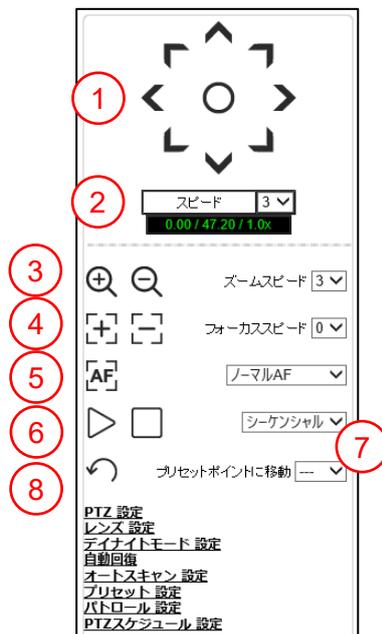
<42>

<42+感度アップ>

■ PTZ 操作パネル

PTZ 操作パネルでは、パン・チルト・ズーム操作とカメラの設定をすることができます。

パン・チルト・ズーム操作



- ① **パン・チルト** : 8つの矢印でパン・チルトの操作をします。中央の○をクリックすると、ホームポジションに移動します。自動回復の「ホームポジション」で任意のプリセットポイントをホームポジションに設定できます。
- ② **スピード** : パン・チルトの速度を選択します。
- ③ **ズームスピード** : ズームイン/ズームアウトします。[ズームスピード] でズームの速度を選択します。
- ④ **フォーカススピード** : フォーカスイン/フォーカスアウトします。[フォーカススピード] でフォーカスの速度を選択します。
- ⑤ **オートフォーカス** : オートフォーカスの設定をノーマル AF/インターバル AF/ズームトリガーAF から選択します。[AF] をクリックして実行します。ノーマル AF にすると、自動でフォーカスを合わせます。インターバル AF にすると、自動でフォーカスを合わせる/合わせないを5秒ごとに切り替えます。ズームトリガーAF にすると、ズームイン/ズームアウトの動作をストップしたタイミングでフォーカスを合わせます。
- ⑥ **オートパン** : オートパンする設定を選択します。オートパンとは、選択した動作モードをおこなうことです。▶をクリックすると、選択した動作モードを実行します。□をクリックすると停止します。動作モードの詳細は次ページの「メモ」をご確認ください。
- ⑦ **プリセットポイントに移動** : 設定したプリセットポイントに移動します。プリセットポイントは、[プリセット設定] から設定します。
- ⑧ **180°フリップ** : フリップ機能 (P.17) で「モード 1」「モード 2」を選択した場合のみ表示されます。クリックすると水平方向に180°回転します。

メモ：

本製品は、スキャン、シーケンシャル、ツアー、パトロール、プリセットの動作モードを有しています。スキャン (P.20)、ツアー (P.51)、パトロール (P.21)、プリセット (P.20) の詳細は各動作モードのページをご確認ください。

シーケンシャルとは、登録されたプリセットポイントの番号の小さい順に、プリセットポイントを巡回する動作モードです。

カメラの設定

各項目をクリックし、つぎの項目を設定します。

PTZ 設定

PTZ 操作をするときの設定をします。

PTZ 設定	
プリセット移動の加速	オン▼
フリップ機能	デジタル▼
垂直限界	-6▼
クリック・センタリング機能	オフ▼
マウスPTZコントロール	オフ▼
モーターパワーセービング	オン▼

- プリセット移動の加速** : オンにするとプリセットポイントに移動する速度が上がります。プリセットポイントの詳細は [プリセット設定] をご確認ください。
- フリップ機能** : チルトの角度が 90° (水平が 0°) を超えたときの動作を選択します。オフにすると、90°まで移動し、停止します。デジタルにすると、180°まで移動し、停止します。モード 1 にすると、90°まで移動した後、水平方向に 180°回転し、停止します。モード 2 にすると、90°まで移動した後、水平方向に 180°回転し、垂直方向に上昇し、停止します。

ご注意：

プリセットポイントを設定した後にフリップ機能を変更すると、プリセットポイントが正常に作動しないおそれがあります。フリップ機能を変更する場合は、再度プリセットポイントを設定してください。プリセットポイントの詳細は [プリセット設定] をご確認ください。

- 垂直限界** : チルトの上限角度を選択します。値を低くするほど、チルトの可動範囲を大きくできます。
- クリック・センタリング機能** : オンにすると、ライブ画面でクリックした位置が画面の中央になるように移動できます。

ご注意：

[マウス PTZ コントロール] がオンの場合、オフに変更されます。

- マウス PTZ コントロール** : オンにすると、ライブ画面上でパン・チルト・ズームの操作ができます。マウスを移動させる方向にドラッグすると、画面が移動します。マウスを表示画面の端に近づけるほどパン・チルトの移動速度が速くなります。マウスホイールを上下に動かして、ズームイン/ズームアウトします。

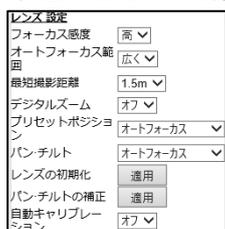
ご注意：

[クリック・センタリング機能] がオンの場合、オフに変更されます。

- モーターパワーセービング** : オンにすると、パン・チルト・ズーム操作をしていない、または動作モードが実行されていない時に省電力モードになります。消費電力を削減できますが、レンズの向きや画角を保持する力が弱くなり、位置ずれが発生する場合があります。

レンズ設定

パン・チルト・ズームやフォーカスなど、レンズの設定をします。



- **フォーカス感度** : フォーカス感度を選択します。高いほど、わずかなボケに敏感に反応して自動でフォーカスを合わせます。
- **オートフォーカス範囲** : オートフォーカスの範囲を選択します。狭くになると、フォーカスが素早く合いますが、フォーカス距離が大きく変化したときに適切にフォーカス調整できない可能性が高くなります。広くにすると、フォーカス距離が大きく変わった場合でも正しくフォーカスを合わせられる可能性が高くなります。
- **最短撮影距離** : 被写体にフォーカスを合わせることができる最短の撮影距離を選択します。
- **デジタルズーム** : オンにすると、最大倍率 200 倍のデジタルズームができます。
- **プリセットポジション** : プリセットポイントに移動した時のモードをマニュアルフォーカス/オートフォーカスから選択します。プリセットポイントの詳細は [プリセット設定] をご確認ください。
- **パン・チルト** : パン・チルト操作をするときのフォーカスモードを選択します。マニュアルフォーカスにすると、自動でフォーカス合わせはしません。One Shot AF にすると、パン・チルトの動作が終わってから自動でフォーカスを合わせます。オートフォーカスにすると、パン・チルトの操作中も自動でフォーカスを合わせます。

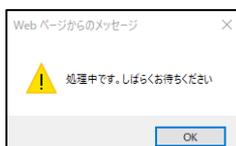
ご注意 :

ズームインした状態で、連続してパンをするとフォーカスが合わなくなる場合があります。その場合、One Shot AF に設定することで、より適切にフォーカスを合わせられる可能性が高くなります。

- **レンズの初期化** : [適用] をクリックすると、ズーム方向の位置制御を初期状態に補正します。ズーム方向の映像位置がずれた場合に使用します。初期化中は、画面に「Lens Initialize」が表示されます。
- **パン・チルトの補正** : [適用] をクリックすると、パン・チルトの位置制御を初期状態に補正します。パン・チルト方向の映像位置がずれた場合に使用します。初期化中は、画面に「Pan-Tilt Correction」が表示されます。

ご注意 :

処理中にダイアログが表示された場合は、自動で閉じません。処理が完了したら、「OK」をクリックして閉じてください。



- **自動キャリブレーション** : オンにすると、毎日0時にレンズの初期化とパン・チルトの補正を実行します。

デイナイトモード設定

デイモードとナイトモードの切り替えについて設定します。デイモードは日中用で、ナイトモードは夜間用です。

デイナイトモード設定	
現在の明るさ	29
<input type="radio"/> 自動 切替遅延時間	2 Sec.
デイからナイトへの切替閾値	6
ナイトからデイへの切替閾値	14
<input checked="" type="radio"/> デイモード	
<input type="radio"/> ナイトモード	
<input type="radio"/> スケジュール	
デイからナイトへの切替時刻	18 : 0
ナイトからデイへの切替時刻	6 : 0
赤外線波長	可視光

「自動」(自動切り替え)、「デイモード」(デイモードに固定)、「ナイトモード」(ナイトモードに固定)、「スケジュール」(スケジュール切り替え)の中から選択できます。

- **現在の明るさ** : 現在の周囲の明るさを表示します。
- **自動、切替遅延時間** : 光センサーからの信号に従って自動でデイモードとナイトモードを切り替えます。切替遅延時間は、周囲の明るさが変わってからモードを切り替えるまでの時間です。デイからナイト、ナイトからデイへの切替閾値を基準として、デイモード/ナイトモードそれぞれに切り替わります。
- **デイモード** : 日中用の設定をするモードです。
- **ナイトモード** : 夜間用の設定をするモードです。
- **スケジュール** : 指定された時刻に自動でデイモードとナイトモードが切り替わります。
- **赤外線波長** : レンズ設定の項目で、マニュアルフォーカスを選択した場合は、動作を最適化するため、周囲の赤外線波長に合わせて可視光、IR850nm から選択してください。通常は可視光を選択してください。周囲に光源がなく、かつ赤外線照明のみがある場合は、IR850nm を選択してください。

自動回復

自動回復の設定をします。自動回復とは、所定の時間、パン・チルト・ズーム操作をしていない、または動作モードが実行されていない時に、事前に設定した動作モードを実行することができる機能です。

自動回復	
ホームポジション	1
自動回復時間	オフ
自動回復モード	オフ

- **ホームポジション** : 自動回復モードでホームを選択したときのプリセットポイントの番号を選択します。プリセットポイントの詳細は[プリセット設定]をご確認ください。
- **自動回復時間** : 自動回復モードで設定した動作モードを実行するまでの時間を選択します。

- **自動回復モード** : 自動回復を実行する動作モードを選択します。ホームを選択すると、ホームポジションで設定したプリセットポイントに移動します。

オートスキャン設定

オートスキャンの設定をします。オートスキャンとは、指定した2箇所の範囲内をパンさせることができる動作モードです。

オートスキャン設定	
オートスキャン番号	4 ▼
スピード	40 ▼
休止時間	5 ▼
開始位置	適用
終了位置	適用

- **オートスキャン番号** : 設定するオートスキャン番号を選択します。
- **スピード** : 指定した箇所に移動する速度を選択します。値が大きいほど速くなります。

ご注意 :

PTZ 設定のプリセット移動の加速がオンの場合、スピードの設定は適用されません。

- **休止時間** : ライブ画面を開始位置/終了位置に保持する時間 (秒数) を選択します。
- **開始位置** : スキャンの開始位置を設定します。[適用] をクリックすると、現在の位置からスキャンの設定を開始します。
- **終了位置** : スキャンの終了位置を設定します。[適用] をクリックすると、現在の位置でスキャンの設定を終了します。

ご注意 :

終了位置を決めるときに移動した回転方向で、オートスキャンが設定されます。ただし、終了位置を決めるときに後戻りなどをすると、予期せぬ方向へのオートスキャンになってしまう場合があるため、終了位置を決めるまで移動は1方向にしてください。予期せぬ方向へオートスキャンが設定された場合は、開始位置から再度設定し直してください。

プリセット設定

プリセットの設定をします。プリセットとは、レンズの向きや画角をあらかじめ設定できる動作モードです。

メモ :

プリセット設定は、フリップ機能 (P.17) でチルトの設定をしてから設定してください。フリップ機能を変更する場合は、再度プリセット設定をおこなってください。

プリセット設定	
プリセットポイント	1 ▼
プリセットタイトル	<input type="text"/>
スピード	255 ▼
休止時間	10 ▼ <input type="button" value="保存"/>
プリセットポイント削除	-- ▼ <input type="button" value="削除"/>

- **プリセットポイント** : 設定するプリセットポイントの番号を選択します。
- **プリセットタイトル** : 設定するプリセットポイントのタイトルを入力します。
(英数字のみ)
空白の場合、「PRESET “番号”」で保存されます。

- **スピード** : シーケンシャル実行時にプリセットポイントからプリセットポイントに移動する速度を選択します。値が大きいほど速くなります。

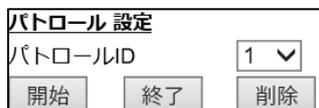
ご注意 :

PTZ 設定のプリセット移動の加速がオンの場合、スピードの設定は適用されません。

- **休止時間** : シーケンシャル実行時にプリセットポイントからプリセットポイントに移動した時に、留まる時間（秒数）を選択します。
- **プリセットポイント削除** : 削除するプリセットポイントの番号を選択します。「削除」をクリックすると「プリセットポイントをクリアしてよろしいですか?」と表示されます。「OK」をクリックすると選択したプリセットポイントが削除されます。ALL を選択すると、すべてのプリセットポイントが削除されます。

パトロール設定

パトロールの設定をします。パトロールとは、パン・チルト・ズーム操作をした行程を記憶する動作モードです。



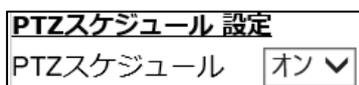
メモ :

パトロール設定は、フリップ機能（P.17）でチルトの設定をしてから設定してください。フリップ機能を変更する場合は、再度パトロール設定をおこなってください。

- **パトロール ID** : 設定するパトロール ID を選択します。
- **開始** : クリックすると「パトロールの記録を開始しますか?」と表示されます。「OK」をクリックした後にパン・チルト・ズーム操作を、記憶する行程でおこないます。画面に「RECORD REMAIN “秒数”」が表示されます。“秒数”はパトロールの記録ができる残り秒数を表します。秒数を過ぎた場合は、残り 0 秒までの行程は記憶されますが、0 秒を過ぎた行程は記憶されません。
- **終了** : 設定が完了したらクリックします。「終了」と表示されます。
- **削除** : 選択したパトロール ID の設定を削除します。

PTZ スケジュール設定

[設定] > [PTZ] > [スケジュール] で設定したスケジュールの設定をします。



- **PTZ スケジュール** : [設定] > [PTZ] > [スケジュール] で設定したスケジュールのオン/オフを切り替えます。スケジュールの詳細は [スケジュール]（P.52）をご確認ください。

■ ログアウトする

メイン画面の [ログアウト] ボタンをクリックしてログアウトします。



設定する

■ 設定

管理者でログインしている場合、Web ブラウザーから本製品の設定を変更することができます。ライブ画面の「設定」ボタンをクリックして設定画面を表示します。



メモ：

- ・ゲストユーザーまたは操作者ユーザーの場合は、設定ボタンが表示されません。
- ・設定画面に移るときは、ライブビュー画面でのマイク/スピーカーは無効にしてください。

設定

設定について説明します。

ライブ画面の「設定」を選択します。



■ システム

システムについて設定するには、設定画面の「システム」タブを選択します。

左側に表示される「一般設定」「ユーザー」「日時」「OSD」「システムログ」のメニューから確認または設定する項目を選択します。



一般設定

[システム] > [一般設定] より、MAC アドレス、ファームウェアバージョン、OS バージョン、システム起動時間などを閲覧することができます。デバイス名は、本画面から変更できます。

設定 > システム > 一般設定	
MACアドレス	[REDACTED]
ファームウェア Ver.	12.1.001.3229
OS Ver.	Linux 4.9.84
システム起動時間	2022/03/14 09:09:51 Mon JST
デバイス名	<input type="text" value="YK-P02AG"/>
<input type="button" value="適用"/>	

- **MAC アドレス** : カメラの MAC アドレスを表示します。
- **ファームウェア Ver.** : カメラのファームウェアバージョンを表示します。
- **OS Ver.** : カメラの OS バージョンを表示します。
- **システム起動時間** : 最後にシステムが起動された日時を表示します。
- **デバイス名** : カメラのデバイス名を入力します。設定したデバイス名が、OSD のカメラ ID に表示されます。

設定後、[適用] をクリックして設定内容を保存します。

ユーザー

[システム] > [ユーザー] から、ユーザー設定を変更できます。

- パスワード強度** : ON にすると、パスワードに次の文字制限がかかります。セキュリティの観点から ON にしておくことを推奨します。
 【文字制限】8文字以上、かつ、アルファベットの大文字、小文字、数字(0~9)、記号(~?!+ =, ; : ' @ # ¥ % ^ & * () _ -)の中から3種類以上の文字を含める
- セキュリティ認証** : ON にするとログインに複数回失敗したユーザーのログインを一定時間ブロックできます。[時間範囲]の間に[ログイン失敗回数]ログインに失敗した場合、[IPブロック時間]の間、ログインがブロックされます。
- 動作タイムアウト** : ON にすると、指定した時間操作しなかった場合に、自動でログアウトします。

本製品には、最大で10名分のユーザーアカウントを登録することができます。アカウントごとにユーザーグループ(アクセス権限)を設定することが可能です。

ユーザーアカウントを追加する

新しいユーザーアカウントを追加するには、ユーザー設定画面で[ユーザー追加]を選択します。

ユーザー名とパスワードを入力し、パスワード確認欄に再度パスワードを入力します。次に、ユーザーグループを管理者/操作者/ゲストから選択します。[適用]をクリックしてユーザーを追加します。

メモ:

- ・管理者は、すべての操作・設定を実行できます。
- ・操作者は、ライブビュー映像の視聴とパン・チルト・ズーム操作ができます。
- ・ゲストは、ライブビュー映像の視聴のみできます。

・ユーザーアカウントを編集する

ユーザーアカウントの編集では、ユーザーのパスワードおよびユーザーグループを変更できます。ユーザーが操作者の場合は、その権限の範囲を変更できます。

[ユーザー] から該当するユーザーを選択し、[ユーザー編集] をクリックします。ユーザー情報を編集後、[適用] をクリックしてユーザー情報を保存します。パスワード強度が OFF の場合、パスワードの基準は適用されません。

ユーザー名	<input type="text" value="admin"/>
パスワード	<input type="password" value="....."/>
	パスワードは以下の基準に従って設定してください。 (1)8文字以上 (2)アルファベットの大文字、小文字、数字、記号 (3)3種類以上の文字を含む
パスワード確認	<input type="password" value="....."/>
ユーザーグループ	<input checked="" type="radio"/> 管理者, <input type="radio"/> 操作者, <input type="radio"/> ゲスト
	<input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="キャンセル"/>

・ユーザーアカウントを削除する

ユーザーを削除するには、[ユーザー] から該当するユーザーを選択し [ユーザー削除] をクリックします。確認ダイアログで [適用] をクリックしユーザーを削除します。

ユーザー	<input type="text" value="admin"/>
	<input type="button" value="ユーザー追加"/> <input type="button" value="ユーザー編集"/> <input checked="" type="button" value="ユーザー削除"/>

日時

[システム] > [日時] から、本製品の日時設定を変更できます。

・NTP サーバーと同期する

NTP サーバーと同期させるには、NTP サーバーと同期を「1 時間毎」に変更し、使用する NTP サーバーを選択します。本製品のシステム日時が 1 時間毎に NTP サーバーと同期されるようになります。

設定 > システム > 日時	
サーバー時刻	2022/03/15 12:50:25 GMT+0900
NTPサーバーと同期	<input checked="" type="radio"/> 1時間毎 <input type="radio"/> オフ
NTPサーバー	<input type="text" value="ntp.nict.jp"/>
タイムゾーン	<input type="text" value="(GMT+09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo"/>
日付と時刻	2022 ▾ / 3 ▾ / 15 ▾ 12 ▾ : 49 ▾ : 42 ▾ <input type="button" value="パソコンと時刻を合わせる"/>
休日リストを有効	<input type="checkbox"/>
	<input type="button" value="適用"/>

メモ：

- ・この機能を利用するには本製品をインターネットに接続してください。
- ・NTP サーバーの初期値は「ntp.nict.jp」です。

・時刻を手動設定する／パソコンと時刻を合わせる

日付と時刻から日付と時刻を選択し、[適用] をクリックして適用します。「パソコンと時刻を合わせる」をクリックすると、自動的にパソコンの時刻が入力されます。

設定 > システム > 日時

サーバー時刻 2022/03/15 12:51:44 GMT+0900

NTPサーバーと同期 1時間毎 オフ

NTPサーバー ntp.nict.jp

タイムゾーン (GMT+09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo

日付と時刻 2022 / 3 / 15 12 : 49 : 42

休日リストを有効

メモ：

この機能を利用するには NTP サーバーと同期をオフにしてください。

・休日リストを有効にする

[休日リストを有効] のチェックボックスをオンにすると、休日リストを設定できます。

休日リストは、スマートイベントのスケジュールに反映することができます。設定しておくことで、スマートイベントで複数のトリガーを設定する場合に、スケジュール設定を簡略化できます。

休日リストを有効

選択	名前	開始日時(月-日 時:分)				終了日時(月-日 時:分)			
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59

- ・ **名前** : 休日リストの名前を入力します。
- ・ **開始日時** : 開始日時を設定します。
- ・ **終了日時** : 終了日時を設定します。

OSD

OSD (On Screen Display) とは、映像上にシステム情報を表示する機能です。

[システム] > [OSD] から、カメラ ID、日付、ステータスおよび PTZ 情報について、OSD の表示／非表示の切り替えや、文字の色を設定することができます。表示位置は、画面上で各 OSD 表示位置をドラッグすることで変更できます。



- **元の位置に戻す** : OSD 表示の位置を初期の位置に戻します。

OSD 表示について、次の項目を設定できます。

- **OSD** : 有効／無効を選択します。
- **文字カラー** : テキストの色を選択します。
- **背景カラー** : テキストの背景の色を選択します。

日付については、[日付形式] で年月日の表示方法を選択できます。

ステータスについては、文字カラー（白）と背景カラー（赤）は固定となり選択できません。

ステータスには HDR (HDR モード)、SD (SD 録画)、SMB (Samba 接続)、T (妨害検知)、A (アラーム入力)、M (モーション検知)、D (音声検知) が表示されます。

システムログ

[システム] > [システムログ] から、システムが生成したログ情報を閲覧することができます。

📄 をクリックすると、ログをエクスポートできます。また、「分類」で選択した分類のみを検索することができます。

設定 > システム > システムログ

IPアドレス	ユーザー	日時	ログ詳細
192.168.0.5	admin	2022/02/24 10:37:04	User Login(SYSTEM MESSAGE)
192.168.0.5		2022/02/24 10:37:00	Add User, admin(SYSTEM MESSAGE)
		2022/02/24 10:35:23	Power On(SYSTEM MESSAGE)
		2022/02/24 10:34:14	Reboot by load default setting CGI(SYSTEM MESSAGE)
192.168.121.5	admin	2022/02/24 10:34:14	Restore Default Settings(SYSTEM MESSAGE)
192.168.121.5	admin	2022/02/24 10:03:47	User Login(SYSTEM MESSAGE)
192.168.121.5	admin	2022/02/24 10:03:22	User Login(SYSTEM MESSAGE)
192.168.121.5	admin	2022/02/24 10:03:11	HTTP User Reject(SYSTEM WRONG)
192.168.121.5	admin	2022/02/24 10:02:37	User Login(SYSTEM MESSAGE)
192.168.0.118	admin	2022/02/21 14:09:37	Updated Video Settings(SYSTEM MESSAGE)
192.168.0.118	admin	2022/02/21 14:09:32	Updated Video Settings(SYSTEM MESSAGE)
192.168.0.5	admin	2022/02/18 09:39:26	User Login(SYSTEM MESSAGE)
192.168.0.5		2022/02/18 09:39:22	Add User, admin(SYSTEM MESSAGE)
		2022/02/18 09:32:01	Power On(SYSTEM MESSAGE)
		2022/02/18 09:30:52	Reboot by Reboot by Load default button(SYSTEM MESSAGE)
192.168.0.5	admin	2022/02/18 09:30:52	HTTP User Reject(SYSTEM WRONG)
		2022/02/18 09:30:51	Restore Default Settings By Load Default Button(SYSTEM ALARM)
192.168.0.5	admin	2022/02/18 09:30:42	User Login(SYSTEM MESSAGE)
192.168.0.5		2022/02/18 09:30:37	Add User, admin(SYSTEM MESSAGE)
		2022/02/18 09:30:09	Power On(SYSTEM MESSAGE)
		2022/02/18 09:29:00	Reboot by Reboot by Load default button(SYSTEM MESSAGE)
192.168.0.5	admin	2022/02/18 09:29:00	HTTP User Reject(SYSTEM WRONG)
		2022/02/18 09:29:00	Restore Default Settings By Load Default Button(SYSTEM ALARM)
192.168.0.5	admin	2022/02/18 09:28:22	User Login(SYSTEM MESSAGE)
192.168.0.5		2022/02/18 09:28:17	Add User, admin(SYSTEM MESSAGE)

■映像／音声

映像/音声について設定するには、設定画面の「映像／音声」タブを選択します。左側に表示される「ストリーム」「音声」のメニューから、確認または設定する項目を選択します。



ストリーム

[映像／音声] > [ストリーム] からストリーム情報を設定できます。

インターネットなど、帯域幅の狭いネットワークを介して映像を送信する場合は、実際にアップロードを実行する帯域幅に近いビットレートを設定してください。本製品はビットレート設定に基づいてフレームをエンコードします。

ストリーム全体について、以下の項目を設定できます。



- **エンコーダー2** : エンコーダー2の有効／無効を選択します。
- **エンコーダー3／モニター出力** : エンコーダー3／モニター出力の無効（モニター出力有効）／有効（モニター出力 無効）を選択します。モニター出力を有効にすると、外部ディスプレイに接続して映像を表示することができます。詳しい接続方法は設置ガイド「ビデオ出力端子の接続」をご確認ください。
- **蛍光灯ちらつき低減** : 本製品を使用する地域の電源周波数を選択します。蛍光灯による映像のちらつきを低減します。[画質詳細]のシャッタースピードの選択肢が変更されます。
- **HDR** : HDR（High Dynamic Range）の有効／無効を選択します。HDR モードは極端に明るい場所と極端に暗い場所が混在したシーンを撮影するためのモードです。それ以外のシーンで使用すると、コントラストが低下した映像になってしまいます。有効にすると、「設定を変更するとカメラが再起動します。」表示され、[OK]をクリックするとカメラが再起動します。

ご注意：

HDR モードでは、撮影するシーンによって、通常モードよりもフォーカスに時間がかかる場合があります。

エンコーダー 1 から 4 の各プロファイルについて設定できます。

- **プロファイル** : 映像圧縮規格を JPEG/H.264/H.265 から選択します。エンコーダー 4 は JPEG のみの選択となります。
- **解像度** : 映像ストリームの解像度を選択します。
- **フレームレート** : 映像のフレームレートを選択します。
- **キーフレーム間隔** : キーフレーム間の秒数を選択します。
値が大きくなる程圧縮率が高くなり、値が小さくなる程動きの速い映像を滑らかに表示することができます。
- **ビットレート制御設定** : VBR (可変ビットレート) / CBR (固定ビットレート) から選択してください。CBR より VBR の方が使用する帯域幅を抑えることができます。
- **ビットレート** : 画質、録画時間、ネットワーク環境から最適なビットレートを設定します。
- **RTSP URL** : RTSP (Real Time Streaming Protocol) を介して映像ストリームにアクセスする際の URL を表示します。

ご注意：

本製品を NVR に接続している場合、フレームレート、キーフレーム間隔、ビットレートは NVR 側の設定が優先されます。NVR の設定と異なる設定をした場合、NVR が自動的に設定値を NVR と同じ設定値に書き換えます。

(YC-R04A2、YC-R08A4、YC-R04B2、YC-R08B4、YC-R16B8 を使用した場合。)

メモ：

解像度は、設定値と実際の解像度と若干の差異が生じる場合があります。

設定後、[適用] をクリックして設定内容を保存します。

音声

[映像/音声] > [音声] から音声機能を設定できます。

設定 > 映像/音声 > 音声

音声 有効 無効

音声入力音量

音声入力増幅

音声出力音量

音声コーデック形式 G711 u-law AAC

サンプリングレート

ビットレート 16 kbit/s

- **音声** : 音声を利用するには、「音声」を有効にします。
- **音声入力音量** : 音量を調整します。値を大きくすると小さい音まで収音できますが、その分ノイズも大きくなります。
- **音声入力増幅** : 入力された音声を増幅します。
- **音声出力音量** : 音声出力のボリュームを選択します。
- **音声コーデック形式** : コーデック方式を選択します。
- **サンプリングレート** : サンプリングレートを設定します。
- **ビットレート** : ビットレートを表示します。

ご注意：

- 音声、音声コーデック形式、サンプリングレートの設定切り替え後、[適用] をクリックすると再起動します。
- 音声コーデック形式やサンプリングレートについては、接続する機器によって制限がある場合があります。

■ コントロール

コントロールについて設定するには、設定画面の「コントロール」タブを選択します。左側に表示される「グローバルカウンター」「疑似入力」のメニューから、確認または設定する項目を選択します。



グローバルカウンター

グローバルカウンターは、スマートイベントのトリガーをカウントするための機能です。

グローバルカウンターはトリガーとなり、LED 表示など、出力用途に使用することができます。16 個のグローバルカウンター入力をサポートしています。



疑似入力

疑似入力はスマートイベントのトリガーとして使用できます。16 個の疑似入力をサポートしています。



■ ネットワーク

ネットワークについて設定するには、設定画面の「ネットワーク」タブを選択します。左側に表示される「一般設定」「HTTP」「RTSP」「HTTPS」「IP/MAC アドレスフィルター」「DDNS」のメニューから、確認または設定する項目を選択します。

一般設定

[ネットワーク] > [一般設定] では、本製品をネットワークに接続するための基本設定を行います。お使いのパソコンと本製品を同一ネットワークに接続し、Web ブラウザーにこの IP アドレスを入力することで、パソコンから本製品にアクセスできます。

本製品のローカルエリアネットワークを設定するには、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、および DNS を入力した後、[適用] をクリックします。

- **ネットワーク** : 固定/DHCP/PPPoE から選択します。
- **IP アドレス** : IP アドレスを設定します。デフォルトは 192.168.0.200 です。
- **サブネットマスク** : サブネットマスクを設定します。デフォルトは 255.255.255.0 です。
- **ゲートウェイ** : ゲートウェイを設定します。デフォルトは 192.168.0.1 です。
- **プライマリ DNS** : 1 番目の DNS サーバーの IP アドレスを設定します。
- **セカンダリ DNS** : 予備として使用される、プライマリ DNS に対する 2 番目の DNS サーバーの IP アドレスを設定します。
- **ユーザー名** : PPPoE 選択した場合、ユーザー名を設定します。
- **パスワード** : PPPoE 選択した場合、パスワードを設定します。
- **QoS(DSCP)** : DSCP 基準に基づいて TCP/IP パケットヘッダを設定し、パケットの優先度を指定します。

- **2番目のIPアドレス** : 2番目のIPアドレスの有効/無効を設定します。
- **2番目のIPアドレス** : 2番目のIPアドレスを設定します。
デフォルトは 192.168.0.200 です。
- **2番目のサブネットマスク** : 2番目のサブネットマスクを設定します。
デフォルトは 255.255.255.0 です。
- **3番目のIPアドレス** : 3番目のIPアドレスの有効/無効を設定します。
- **3番目のIPアドレス** : 3番目のIPアドレスを設定します。
デフォルトは 192.168.0.200 です。
- **3番目のサブネットマスク** : 3番目のサブネットマスクを設定します。
デフォルトは 255.255.255.0 です。

HTTP

HTTPとは、データがユーザーのコンピューターやウェブサイト間を行き来するときに、データの統合性や秘匿性を確保するためのインターネットプロトコルで、ポート転送を設定することで、映像をインターネットで送信することができます。HTTPポート番号の変更については、ネットワーク管理者にお尋ねください。



設定 > ネットワーク > HTTP

HTTPポート

HTTP接続指針 HTTP & HTTPS HTTPS

適用

[ネットワーク] > [HTTP] から、HTTPの各項目を設定します。

- **HTTPポート** : HTTP接続で使用するポート番号を設定します。
- **HTTP接続指針** : 使用するプロトコルを選択します。

設定後、[適用] をクリックして設定内容を保存します。

RTSP

RTSP は信頼性の高い映像ストリーミングプロトコルです。ポート転送を設定することで、映像をインターネットで送信することができます。RTSP ポート番号の変更については、ネットワーク管理者にお尋ねください。

- **RTSP ポート** : RTSP 接続で使用するポート番号を設定します。
- **RTSP 認証** : オンにすると RTSP 接続時にユーザー名とパスワードを要求します。
- **エンコーダー1~4** : エンコーダーの名前を入力します。

設定後、[適用] をクリックして設定内容を保存します。

HTTPS

本製品は HTTPS (Hypertext Transfer Protocol Secure) サービスに対応しています。HTTPS とは、データがユーザーのコンピューターやウェブサイト間を行き来するときに、データの統合性や秘匿性を確保するためのインターネットプロトコルで、HTTP のセキュリティを強化したものです。セキュリティ認証として、SSL プロトコルが追加されています。送信される情報が暗号化されるため、セキュリティの向上を図れます。

本製品で HTTPS を有効するには、[ネットワーク] > [HTTPS] の [HTTPS] で [有効] を選択します。

HTTPS サービスには、2 つの設定方法があります。

1 つ目の設定方法は、自己署名証明書の作成です。[方法] の項目で [自己署名証明書の作成] を選択し、都道府県などの空欄に必要事項を入力した後 [証明書を作成] をクリックします。

[証明書作成中] の画面が表示された後、証明書状況が [未設定] から [有効] に変更されます。

2つ目の設定方法は、SSL 証明書を購入する方法です。[方法] の項目で [証明書の要求を作成およびインストールする] を選択し、必要事項を入力した後 [証明書の作成] をクリックします。

第三者機関から SSL 証明書を購入後、お使いのパソコンから SSL 証明書をダウンロードします。ダウンロードが成功すると、証明書状況が [未設定] から [有効] に変更されます。

設定 > ネットワーク > HTTPS

HTTPS 有効 無効

HTTPSステータス 無効

証明書状況 未設定

方法 **証明書の要求を作成およびインストールする。**

国 JP

都道府県 Tokyo

市区町村 Shinjuku

組織名 Sharp

部署名 Business

コモンネーム

証明書を作成

設定 > ネットワーク > HTTPS

HTTPS 有効 無効

HTTPSステータス 無効

証明書状況 認証待ち

ファイルのダウンロード **ダウンロード**

証明書の選択 **参照...** **Upload**

方法 **証明書の要求を作成およびインストールする。**

国 JP

都道府県 Tokyo

市区町村 Shinjuku

組織名 Sharp

部署名 Business

コモンネーム

証明書を削除

IP/MAC アドレスフィルター

IP/MAC アドレスフィルターを設定することで、本製品のセキュリティを高めることができます。

本機能を利用するには、「IP/MAC アドレスフィルター」を有効にします。特定の IP/MAC アドレスからのアクセスだけを許可する場合は、「許可/拒否」で「許可」を選択し、許可する IP/MAC アドレスを入力して [適用] をクリックします。特定の IP/MAC アドレスからのアクセスを拒否する場合は、「許可/拒否」で「拒否」を選択し、拒否する IP/MAC アドレスを入力して [適用] をクリックします。

ご注意：

「許可」する IP/MAC アドレスを設定する場合は、本製品にアクセスしているパソコンの IP/MAC アドレスを最初に設定してください。それ以外を設定すると、自動的にログアウトしカメラにアクセスできなくなります。

設定 > ネットワーク > IP/MACアドレスフィルター

IP/MACアドレスフィルター 有効 無効

許可 / 拒否 許可 拒否

IPアドレス

入力方法: <IPアドレス><Enter>

MACアドレス

入力方法: <MACアドレス><Enter>

適用

DDNS

本製品は、DDNS（Dynamic Domain Name Service）サービスに対応しています。DDNS サービスを使用することで、DNS サーバーを自動的にアップデートできます。

DDNS サービスを利用するには、[ネットワーク] > [DDNS] を選択し、「DDNS」で [ON] を選択します。

DDNS サーバーを選択してから必要事項を入力の上、[適用] をクリックし、変更を反映します。

設定 > ネットワーク > DDNS

DDNSサーバーアドレス

DDNS ON

ユーザー名

パスワード

ホスト名
<http://249000>

WAN側IPアドレス

- **DDNS サーバーアドレス** : 使用する DDNS サーバーを選択します。
- **DDNS** : DDNS サービスを利用する場合 [ON] を選択します。
- **ユーザー名** : DDNS で使用するユーザー名を設定します。
- **パスワード** : DDNS で使用するパスワードを設定します。
- **ホスト名** : DDNS ホスト名を設定します。
- **WAN 側 IP アドレス** : WAN の IP アドレスを設定します。

メモ:

- DDNS サービスを利用するには、インターネットに接続する必要があります。

■スマートイベント

スマートイベントでは、カメラが動体や妨害などを検知したときに、メール通知や FTP 転送などのアクションを実行するように設定することができます。

本製品の検知機能には、モーション検知、アラーム検知、妨害検知、音声検知、ネットワーク検知があります。また、イベントが発生したときのアクションには、FTP 転送、メール通知、SD カード録画などがあります。

利用する検知機能について、機能の有効化および検知エリアや感度などを設定し、スマートイベントで、検知スケジュールや実行するアクションについて設定します。実行するアクションの詳細については、[通知] から設定できます。



スマートイベント

[スマートイベント] > [スマートイベント] から、イベントが発生した場合のアクションなどを設定/変更できます。

イベントは 5 つまで登録でき、各イベントについて有効/無効、イベント名、条件 (1~5)、スケジュール、実行 (設定した条件の内容が発生した際のアクション) を設定できます。

イベントを設定するには、イベントリストから [追加] をクリックします。



「イベントを有効」にチェックを入れ、[イベント名] および [条件名] を入力し、[トリガー] のタブを選択し、検知する条件 (トリガー) や検知時間、休止時間を設定します。

イベント検知したときのアクションを設定するには、[アクション]のタブを選択し、条件が発生した場合のアクションを設定します。すべて設定して[イベント保存]をクリックします。



- **FTP 転送** : FTP サーバーにスナップショットを送信します。
- **メール通知** : スナップショットをメールで送信します。
- **アラーム出力** : アラーム端子にアラームを出力します。
- **HTTP 通知** : 指定したウェブサイトのアラームを通知します。
- **グローバルカウンター** : グローバルカウンターの設定値/増分値を指定します。
設定値にすると、グローバルカウンターが設定した値になります。
増減にすると、現在のグローバルカウンターの値に設定した値を加算します。
- **疑似入力** : 指定した疑似入力を有効/無効にします。
- **SD カード録画** : microSD カードに動画データを保存します。
- **Samba サービス** : Samba サーバーに動画データを保存します。

モーション検知

モーション検知は、設定した検知エリアにおいて、動きがあった場合に検知します。

モーション検知を設定するには、[スマートイベント] > [モーション検知] を選択します。検知エリアを、マウスのダブルクリックまたはドラッグで設定します。赤く表示されたエリアが検知エリアです。選択を解除するには、再度ダブルクリックするか、マウスの右ボタンでドラッグします。[削除] をクリックすると、すべての選択エリアを解除します。



- **モーション検知** : モーション検知の有効/無効を選択します。
- **動作感度** : 検知感度を設定します。数値が小さい程、小さい動きでも検知します。

ご注意:

対象物、および照度などで精度に影響があります。

設定後、[適用] をクリックして設定内容を保存します。

妨害検知

妨害検知では、カメラの向き（視野）が変更されたり、レンズが布や塗料などで覆われたりして視野が遮られたことを検知します。

妨害検知を設定するには、[スマートイベント] > [妨害検知] を選択します。



- **妨害検知** : 妨害検知の有効/無効を選択します。
- **検知時間** : 妨害が発生してから検知するまでの判定時間を設定します。
- **休止時間** : 妨害を検知してから、次の判定を開始するまでの休止時間を設定します。検知のOSD表示を有効にしている場合、休止時間の間「T」マークが表示されます。

設定後、[適用] をクリックして設定内容を保存します。

音声検知

音声検知は、音が音声検知トリガーレベルを超えたことを検知します。

音声検知を設定するには、[スマートイベント] > [音声検知] を選択します。

ご注意：

音声検知をするにはカメラのオーディオ端子にアンプ内蔵マイクを接続する必要があります。詳しい接続方法は、設置ガイド「オーディオ端子の接続」をご確認ください。

設定 > スマートイベント > 音声検知

音声検知 有効 無効

現在の音声レベル 0

音声検知トリガーレベル(低:1~高:99) 70

音声検知感度(低:1~高:99) 50

適用

- **音声検知** : 音声検知の有効／無効を選択します。
- **現在の音声レベル** : 現在の音声レベル (dB) を表示します。
- **音声検知トリガーレベル** : 音声検知が作動するレベルを選択します。値が小さいほど、小さな音声でも音声検知のトリガーとなります。
- **音声検知感度** : 音声を検知する感度を選択します。値が大きいほど、小さな音声でも検知します。

設定後、[適用] をクリックして設定内容を保存します。

アラーム検知

本製品は NO (ノーマルオープン) および NC (ノーマルクローズ) コントロールインターフェースに対応しています。

本製品にセンサーなどの外部アラーム入力機器を接続します。接続する機器に合わせて NO (ノーマルオープン) か NC (ノーマルクローズ) かを選択します。

設定 > スマートイベント > アラーム検知

アラーム入力1モード NO NC

アラーム入力2モード NO NC

アラーム入力3モード NO NC

アラーム入力4モード NO NC

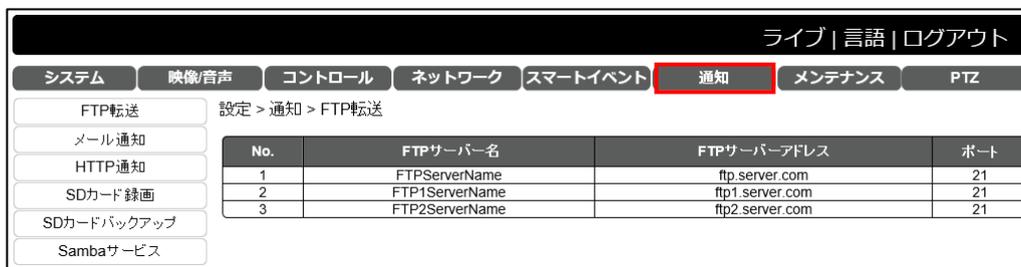
適用

設定後、[適用] をクリックして設定内容を保存します。

■通知

通知では、[スマートイベント] の「実行」で設定したアクションの詳細条件を設定することができます。

通知について設定するには、[通知] を選択し、左側に表示される [FTP 転送] [メール通知] [HTTP 通知] [SD カード録画] [SD カードバックアップ] [Samba サービス] メニューから、設定する項目を選択します。



FTP 転送

スナップショットを FTP サーバーに送信することができます。

[通知] > [FTP 転送] から設定する FTP サーバーを選択し、必要な FTP 情報を入力します。

設定 > 通知 > FTP転送

No. 1

FTPサーバー名

FTPサーバーアドレス

FTPサーバーポート

アカウント

パスワード

ディレクトリ

プレフィックス

サフィックス

- **No.** : FTP サーバーの番号を表示します。
- **FTP サーバー名** : FTP サーバーの名前を設定します。
- **FTP サーバーアドレス** : FTP サーバーのアドレスを設定します。
- **FTP サーバーポート** : FTP サーバーのポート番号を設定します。
- **アカウント** : FTP サーバーにログインするためのユーザーアカウント名を設定します。
- **パスワード** : アカウントのパスワードを設定します。
- **ディレクトリ** : JPEG スナップショットを保存するファイルパスを設定します。
- **プレフィックス** : JPEG ファイル名のプレフィックス（接頭辞）を設定します。
- **サフィックス** : JPEG ファイル名のサフィックス（接尾辞）を設定します。

メモ：

ディレクトリのファイルパスは、半角英数字で設定する必要があります。

メール通知

スナップショットを e メールで送信することができます。

[通知] > [メール通知] を選択し、必要なメール情報を入力します。

設定 > 通知 > メール通知

メール受信者 設定

メールアドレス1

メールアドレス2

メールアドレス3

メールアドレス4

メールアドレス5

メール送信者 設定

メールアドレス

SMTPサーバーアドレス

SMTP認証

ログイン認証

SSL認証

TLS認証

SMTPポート

認証 OFF

認証アカウント

認証パスワード

メール受信者 設定

- **メールアドレス 1~5** : 受信者のメールアドレスを設定します。最大 5 件まで設定できます。

メール送信者 設定

- **メールアドレス** : 送信者のメールアドレスを設定します。
- **SMTP サーバーアドレス** : メールサーバーのアドレスを入力します。
- **SMTP 認証** : 認証方式を選択します。
- **SMTP ポート** : ポート番号を設定します。初期ポート番号は 25（メールサーバーポート）です。
- **認証** : メールサーバー認証の ON/OFF を選択します。
- **認証アカウント** : メールサーバーのアカウント名（ユーザー名）を入力します。
- **認証パスワード** : メールサーバーのパスワードを入力します。

設定後、[適用] をクリックして設定内容を保存します。

[テストメール送信] で正しく設定されているか確認できます。

ご注意:

[テストメール送信] は [適用] をクリックしてから行ってください。

HTTP 通知

POST プロトコルを介してウェブサイト上に通知することができます。

[通知] > [HTTP 通知] を選択し、設定する HTTP POST サーバーを選択します。

No.	HTTP POST サーバー名	HTTP POSTサーバーアドレス	ポート
1	httpservername	httpserver.com	80
2	httpservername1	httpserver.com	80
3	httpservername2	httpserver.com	80
4	httpservername3	httpserver.com	80
5	httpservername4	httpserver.com	80
6	httpservername5	httpserver.com	80
7	httpservername6	httpserver.com	80
8	httpservername7	httpserver.com	80
9	httpservername8	httpserver.com	80
10	httpservername9	httpserver.com	80
11	httpservername10	httpserver.com	80
12	httpservername11	httpserver.com	80
13	httpservername12	httpserver.com	80
14	httpservername13	httpserver.com	80
15	httpservername14	httpserver.com	80
16	httpservername15	httpserver.com	80
17	httpservername16	httpserver.com	80
18	httpservername17	httpserver.com	80
19	httpservername18	httpserver.com	80
20	httpservername19	httpserver.com	80
21	httpservername20	httpserver.com	80
22	httpservername21	httpserver.com	80
23	httpservername22	httpserver.com	80
24	httpservername23	httpserver.com	80
25	httpservername24	httpserver.com	80

設定 > 通知 > HTTP通知

No. 1

HTTP POST サーバー名

HTTP POSTサーバーアドレス

HTTP POSTサーバーポート

アカウント

パスワード

HTTP POST URL

HTTP POST JSON

- **No.** : HTTP POST サーバーの番号を表示します。
- **HTTP POST サーバー名** : HTTP POST サーバーを設定します。
- **HTTP POST サーバーアドレス** : HTTP POST サーバーの IP アドレスを設定します。
- **HTTP POST サーバーポート** : HTTP POST サーバーのポート番号を設定します。
- **アカウント** : アカウント名を入力します。
- **パスワード** : パスワードを入力します。
- **HTTP POST URL** : HTTP POST を送信するための CGI コマンドを設定します。利用可能な記号は次ページを参照してください。
- **HTTP POST JSON** : テキスト選択時、送信するメッセージを設定します。利用可能な記号は次ページを参照してください。

設定後、[適用] をクリックして設定内容を保存します。

HTTP POST URL および HTTP POST JSON 利用可能な記号とメッセージ例は次のとおりです。

%mac_addr% => MAC アドレス

%YYYY% => 年

%MM% => 月

%DD% => 日

%hh% => 時

%mm% => 分

%ss% => 秒

HTTP POST URL メッセージ例を以下に示します。

```
/API_EXAMPLE?MAC_Address=%mac_addr%&YEAR=%YYYY%
```

```
/API_EXAMPLE?MAC_Address=**:*:*:*:*:*:*&YEAR=2021
```

HTTP POST JSON メッセージ例を以下に示します。

```
{MAC_Address:"%mac_addr%",YEAR="%YYYY%"}
```

```
{MAC_Address:"**:*:*:*:*:*:*",YEAR="2021"}
```

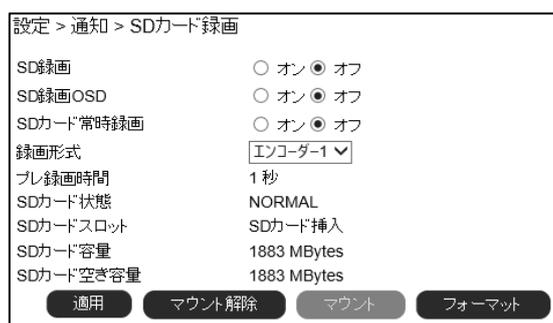
**:*:*:*:*:* : MAC アドレス

SD カード録画

microSD カードに映像を録画することができます。

[通知] > [SD カード録画] から、SD カード録画を設定します。

SD 録画を有効化する前に、本製品に microSD カードが適切に挿入されていることを確認してください。



- **SD 録画** : SD 録画のオン/オフを選択します。
- **SD 録画 OSD** : ライブ画面上の SD 録画の OSD 表示のオン/オフを選択します。
- **SD カード常時録画** : SD カード常時録画のオン/オフを選択します。
- **録画形式** : microSD カードに録画するエンコーダーを選択します。
- **プレ録画時間** : イベント発生時、イベント発生直前の映像を microSD カードに録画する時間を表示します。
- **SD カード状態** : microSD カードの状態を表示します。

- **SD カードスロット** : microSD カードの挿入／未挿入を表示します。
- **SD カード容量** : microSD カードの容量を表示します。
- **SD カード空き容量** : microSD カード容量のうち、録画可能な容量を表示します。

設定後、[適用] をクリックして設定内容を保存します。

- **マウント解除** : microSD カードの認識を解除して、安全に microSD カードを取りはずせるようにします。
- **マウント** : microSD カードを認識させ、microSD カードを利用可能な状態にします。
- **フォーマット** : microSD カードを初期化します。新品の microSD カードや、ほかの機器で使用していた microSD カードを本製品ではじめて使用する場合はクリックし、フォーマットしてください。

ご注意：

- microSD カードを取り出す前に必ず [マウント解除] をクリックしてください。microSD カードがマウントされた状態で取り出すと、ファイルシステムが壊れる可能性があります。microSD カードは押し込んでから引き出してください。
- フォーマットすると、microSD カード内のデータがすべて消去されます。フォーマットをする前に、必要なファイルは事前にコピーしてください。

SD カードバックアップ

microSD カードに録画されたデータのうち、特定部分のみをパソコンにクリップすることができます。

[通知] > [SD カードバックアップ] を選択し、該当ファイルをクリックして動画データをパソコンに保存します。

[更新] ボタンをクリックして、リストを更新します。
該当ファイルを右クリックして、映像を確認（再生/停止）することができます。（映像のプレビューのため、音声は再生されません。）

録画されたデータを削除したい場合、該当ファイルにチェックを入れて [削除] ボタンをクリックします。1 度に 10 個まで削除できます。



メモ：

microSD カードに録画されたデータがない、または microSD カードが未挿入の場合、[削除] [更新] ボタンのみ表示します。

Samba サービス

Samba サービスは、Microsoft の Windows ネットワークを実装したフリーソフトウェアで、Windows のファイルサーバーやドメインコントローラ機能などを提供するサービスです。

本製品のストリーミング映像を Samba サーバーに録画できます。常時録画が利用可能です。この機能を使用するには、[通知] > [Samba サービス] を選択し、Samba サービスの必要情報を入力します。常時録画の設定が可能で、Samba サーバーの容量が一杯になった場合は、最も古い録画ファイルに上書きして保存します。

- **Samba 録画** : Samba 録画のオン/オフを選択します。
- **Samba 録画 OSD** : ライブ画面上の Samba 録画表記のオン/オフを選択します。
- **Samba 常時録画** : Samba 常時録画のオン/オフを選択します。
- **録画形式** : Samba サーバーに録画するエンコーダーを選択します。
- **プレ録画時間** : イベント発生時、イベント発生直前の映像を Samba サーバーに録画する時間を表示します。
- **Samba サーバーアドレス** : Samba サーバーの IP アドレスを設定します。
- **Samba サーバーアカウント** : Samba サーバーのアカウントを設定します。
- **Samba サーバーパスワード** : Samba サーバーのパスワードを設定します。
- **Samba サーバーディレクトリ** : Samba サーバー上の録画ファイル保存先のディレクトリパスを設定します。
- **Samba 状態** : Samba サーバーの状態を表示します。
- **Samba 接続状況** : Samba サーバーの接続ステータスを表示します。
- **Samba 容量** : Samba サーバーのストレージ容量を表示します。
- **Samba 空き領域** : Samba サーバーの空きストレージ容量を表示します。

メモ:

Samba サーバーディレクトリのファイルパスは、半角英数字で設定する必要があります。

設定後、[適用] をクリックして設定内容を保存します。

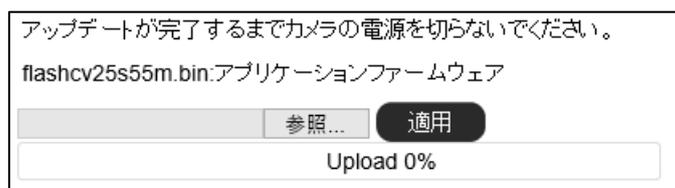
■ メンテナンス

本製品のファームウェアの更新や、本製品を初期化する（工場出荷時の設定に戻す）には、設定画面の [メンテナンス] タブを選択します。



ファームウェア更新

本製品のファームウェアを更新するには、[参照...] をクリックし、アップデートファイルを指定します。[適用] をクリックしてファームウェア更新を開始します。



ご注意：

更新中は本製品およびパソコンの電源を切らないでください。本製品に修復不可能な損傷が発生するおそれがあります。

メモ：

アップデートファイルは下記 URL からダウンロードすることができます。
<https://jp.sharp/business/security-camera/>

設定のエクスポート／インポート

本機の設定を他機にエクスポートするには、「設定のエクスポート」の [エクスポート] をクリックします。

他機から設定をインポートするには、[参照...] をクリックしてインポートするファイルを指定し、[インポート] をクリックします。



システム再起動

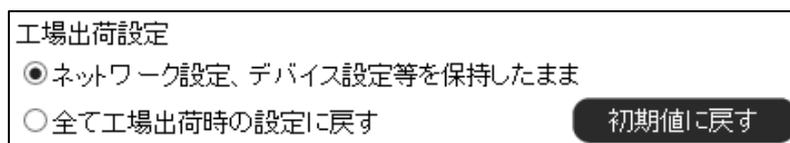
「システム再起動」をクリックすると、システムを再起動します。



工場出荷設定

IP アドレス等のネットワーク設定およびユーザー設定や日時などのシステム設定を保持したまま、その他の設定項目を工場出荷時の設定（初期設定）に戻したい場合、「ネットワーク設定、デバイス情報等を保持したまま」を選択し、「初期値に戻す」をクリックします。

システム設定およびネットワーク設定を含むすべての設定を工場出荷設定（初期設定）に戻すには、「全て工場出荷時の設定に戻す」を選択し、「初期値に戻す」をクリックします。



ご注意：

「全て工場出荷時の設定に戻す」を選択した場合、カメラの IP アドレスが初期値（192.168.0.200）に戻り、ユーザーアカウントもすべて消去されます。新しいユーザーアカウントを設定してください。

ログインパスワードを忘れた場合など、Web ブラウザーにアクセスできない場合、本体のリセットボタンから本製品を工場出荷時の状態に戻すことができます。

メモ：

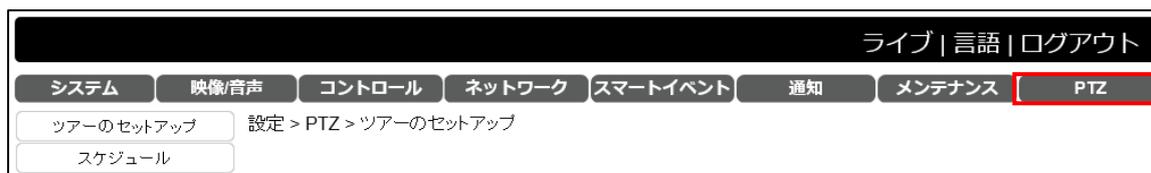
本体のリセットボタンの位置は、本製品に同梱されている取扱説明書（基本編）の「本体各部のなまえと付属品」をご参照ください。

以下の手順を実行してください。

1. 電源が供給されている状態で本体の「リセットボタン」を 20 秒以上押し続けます。
2. リセットボタンから手を離します。
3. 約 50 秒後、設定が初期化され、自動的に再起動します。
4. Web ブラウザーから本製品にアクセスします。初期 IP アドレスは 192.168.0.200 です。
5. セキュリティ確保のため、初回ログイン時にユーザー名とパスワードを作成してください。

■PTZ

ツアーのセットアップ、スケジュールの設定をするには、設定画面の [PTZ] タブを選択します。



ツアーのセットアップ

最大 16 個のツアーを設定できます。ツアーとは、指定したプリセットポイントを巡回する動作モードです。最大 32 箇所まで設定できます。

ご注意：

この動作モードを使用するには、あらかじめ 2 つ以上のプリセットポイントを設定する必要があります。プリセットポイントの設定方法は、「プリセット設定」(P.20) をご確認ください。また、フリップ機能 (P.17) でチルトの設定をしてから設定してください。フリップ機能を変更する場合は、再度ツアーのセットアップをおこなってください。

設定 > PTZ > ツアーのセットアップ

ツアーパス	1	スピード	120	休止時間	10	適用
1	-	9	-	17	-	25
2	-	10	-	18	-	26
3	-	11	-	19	-	27
4	-	12	-	20	-	28
5	-	13	-	21	-	29
6	-	14	-	22	-	30
7	-	15	-	23	-	31
8	-	16	-	24	-	32

- **ツアーパス** : 設定するツアーの番号を選択します。
- **スピード** : ツアーパスの設定位置間の速度を選択します。値が大きいほど速くなります。

ご注意：

PTZ 設定のプリセット移動の加速がオンの場合、スピードの設定は適用されません。

- **休止時間** : 設定した位置に留まる時間 (秒) を選択します。

設定後、[適用] をクリックして設定内容を保存します。

スケジュール

スケジュールを設定できます。スケジュールでは、指定した曜日・時刻に動作モード（スキャン、シーケンシャル、ツアー、パトロール、プリセット）を実行できます。スケジュールを設定するには、動作モードを選択した後、設定する曜日・時刻をクリックします。選択した曜日・時刻の色（および数字）が変更されます。スケジュールなしを設定すると、直前の動作モードが継続されます。動作モードを停止する場合は、停止を設定します。

設定 > PTZ > スケジュール

スケジュール

	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
月曜日	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
火曜日	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
水曜日	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
木曜日	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
金曜日	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
土曜日	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
日曜日	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

スケジュールなし
 スキャン1
 シーケンシャル
 ツアー1
 パトロール1
 プリセット | 1 ▼

スキャン2
 ツアー2
 パトロール2
 停止

スキャン3
 ツアー3
 パトロール3

スキャン4
 ツアー4
 パトロール4

適用 全て削除

メモ：

スケジュールで開始した動作モードは、オートパンの □ で停止できます。停止したスケジュールを再開する場合は、オートパンの ▷ をクリックします。

動作モードの詳細は [パン・チルト・ズーム操作] の「メモ」(P.17) をご確認ください。

設定後、[適用] をクリックして設定内容を保存します。

[全て削除] をクリックして、設定したスケジュールをすべて削除します。

お客様ご相談窓口のご案内

本製品の使い方など一般のご相談ならびに修理についてのご相談・ご依頼は、お買いあげの販売店もしくは下記ご相談窓口へご連絡ください。

修理ご相談窓口

シャープマーケティングジャパン株式会社 ビジネスソリューション社

<全国共通>



0570-006-008

■ 受付時間 月曜～土曜：9:00～17:40

(日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます)

全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。

携帯電話からもご利用いただけます。

IP 電話をご利用の方は…

043-332-9957 (東日本)

06-6794-9677 (西日本)

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

シャープ株式会社および関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただいております。個人情報は適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。

個人情報の取り扱いの詳細については、
<https://corporate.jp.sharp/privacy-j.html> をご参照ください。

電話番号、受付時間などについては、変更になることがあります。(2024年8月現在)

シャープ株式会社

〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地